本紙は女性による平和と平等を推進します

回覧 □□□□□□□

発行所
全国婦人新聞社
〒160 東京都新宿区西新宿
3-7-28　宝幸西新宿ビル
電話　03（3343）1846㈹
FAX　03（3348）1890
振替口座 00150-7-172320

全国婦人新聞

ご購読料
1年　6,000円
（郵送料1,700円を含む）
現金・切手・振替で前納
月3回発行
10日・20日・30日

アファーマティブ
アクションで
女性の地位向上を!!
全国婦人新聞

パート・非常勤に差別ない待遇を！

元気の出るユニオン春闘集会で統一要求

賃金格差の是正を

女性たちの生きた声を反映

パート春闘は25%の賃上げなど８項目を要求

「パート・非常勤に差別のない権利・待遇を！元気の出るユニオン春闘集会」（主催・コミュニティ・ユニオン首都圏ネットワーク）が、十七日、総評会館（東京・御茶ノ水）で開かれた。

この集会は、中小企業などの労働組合が組織する「コミュニティ・ユニオン全国ネットワーク」が、全国のユニオン関連の団体を対象に行った、「パート労働実態アンケート」の結果をもとに、初の統一要求を発表。春闘に向け、パートタイマーの待遇改善を求めていこうというもの。

アンケートに見るパートの現状は、年齢制限・家族の都合によるパート選択、その収入は欠くことのできない生活費であること。労働時間は、正社員と一時間程度しか違わず、時給の全国平均は八百九十一円で、二五%アップを望んでいること、など。

統一要求（別掲）を発表した、同ユニオンの酒井和子さんは「女性たちの生きた声を反映した要求。賃上げについては、正社員と同じ仕事をしているのに安すぎるから。今、阪神で、女性パートの解雇問題が起きている。状況を変えるためにも、この統一要求を掲げていきたい」。

アンケートのコメントをした大沢真理さん（東大社研助教授）は、要求について「どれも正当だと思う。パートと正社員の賃金格差に三〇%も差があるのが、日本の特徴。年齢差別に至っては、日本特有で欧米では考えられない」と話した。

続いて、大沢さんを交え、現場で働く三人の女性たちをパネリストにパネル・ディスカッション。

金田麗子さん（おんなのユニオン）は、書店の疑似パート。労働組合を作り十七年間、待遇改善のための運動をしてきた。だが、パート労働法施行で、逆にパートの就業規則を会社側に作られた。これまで期限の定めがなかったのに、三年未満の人は、二年で雇い止めという条件を出された。「これは撤回させたが、労組があり改善してきたのに、すぐ、パートを理由に条件を悪くしていこうとする」と憤る。

大手のスーパー・マーケットで働く塚野光子さん（江戸川ユニオン）も、契約更新の際の不利益な扱いが問題という。会社自体が一週四十時間にしたいので、更新時にこれを越えないで欲しいと、個別に話があったのだという。「四十五時間働いても十六〜十七万円の月収。これが減収になるのは苦しい。組合は覚書を交わし、更新時に断っても不利益な扱いはしないことになったが、立場が弱いので、組合としてやっていくことの大切さをつくづく感じた」という。「流通・小売業は、日経連の案を先取りしている。社会保険もいらないという層を生んでいる」とも。

平岩義子さん（北区地域ユニオン）は、非常勤指導員として十八年間児童館に勤め、この三月末日で雇い止めになる。一カ月二十日、一日六時間、一年二百四十日の勤務。正規職員の四分の三の勤務だが、「受けている待遇は半分以下」。ボーナス、退職金一切無し。年休は、三日だったのがやっと十数日になった。病気になり年休を使ってしまえば無給。「産休・生休も無給。これでは、結婚したらやめざるを得ない」。平岩さんは、今、定年後せめて二〜三年働かせてくれと交渉している。正職員は、定年後四年は非常勤で働ける。「この運動を打ち切りにすることは忍びない。実現するまで頑張りたい」という。

会場からは弁護士の中野麻美さんが、「企業の言い分の一つに、パートは家庭も仕事もで、企業との結びつきが少なく、課税最低限度として自ら自制しているので、期待度が違うという。そうせざるをえない社会構造を是正せず、こう言い放つ企業をどう論破していくかだ。どのような社会システムに変えていったらいいのか」。「男が企業の論理で生活を切り捨てている分、女性の労働分野を奪い取っている構図がある。いかに自分たちの生活時間を取り戻すかだ」という男性からの発言もあった。

大沢さんは「企業は期待度云々を言い、学者は労働者を一人雇う固定の採用費用が、労働時間が短い人は高いから時給が安いという。だが、正社員と同じ労働時間のフルタイムパートは、短時間の人より時給が低いというデータがある。不当と言うこと」とした。

集会では最後に、ILOパート条約批准を求める署名活動、統一要求をユニオンの地域ネットワークを活用し活動をしよう、などの行動提起をして閉会した。同ユニオンでは、四月四日、統一行動を行う予定。

【95ユニオンパート春闘全国統一要求】

①「二五%の賃上げ、自給二百円アップと地域最賃（最低賃金）の大幅引き上げを！」②「時間短縮や賃下げ、新たに雇用期間を定めるなどの不利益変更を許さない！」③「職場に退職金制度を！自治体に退職金条例を！」④「自治体の非常勤・アルバイトに夏冬の一時金・退職金を！」⑤「年次有給休暇を行使しよう！——労基法の比例付与の徹底を——」⑥「すべてのパートタイマーが加入できる社会保険・雇用保険を！」⑦「正社員募集時の年齢差別をなくし、パートから正社員への転換を優先させよう！」⑧「ILOパート条約を批准させよう！」

夫の暴力・驚く実態

110番は鳴り止まず！

なごや女たちの会　NO！性暴力

「性暴力にNO！なごや女たちの会」は、昨年十月三十、三十一日の二日間、電話相談「夫からの暴力110番」を実施した。このほどその結果がまとまった。この電話相談は女性グループによるものとしては、東海地区で初めてのものだったが、二日間で七十八件もの相談があった。電話は鳴りっ放し、一件の相談に時間がかかるので対応できなかったものもあるのでは、という。

東海三県だけでなく北陸、信越からの相談があった。内容は極めて深刻なものが多く、せっぱつまった事態の中で、訴えに行くところもないまま、孤立し悩んでいる、女性の姿が浮かびあがる。

七十八件の相談のうち、夫の暴力の相談は七十三件。妻は四十代が一番多く（三一・一%）、次いで三十代（二四・三%）。殆どが同居しており、結婚年数はかなり長い。

子どももあり（五十六件）、専業主婦が多く四五・九%、次いでパート（二一・六%）、自営業（一八・九%）。暴力をふるう夫は四十代（二八・四%）、三十代（二四・三%）が多く、ついで二十代。職業は会社員（五〇%）、自営業（二四・三%）。

暴力の中身は身体的なものが五十二件で多いが心理的暴力も多い（三十五件）。

身体的暴力は、さ細な言葉や感情の行きちがいから、カーッとした夫が殴る、ける。酒でも飲むと更にエスカレートし髪をつかんで引きずり回す。毎日のように殴られている人、十年以上も暴力が続いている人もあり、骨折等で医者にかかったケースも二十一件ある。暴力は、夜、家の中ということが多く、これが暴力の存在をわかりにくくしている原因だが、中には店の客の前で暴力をふるわれた例もある。

心理的暴力は、まず「ハエ」「ブタ」「ブス」など言葉の侮辱。毎日罵倒されているうち、妻は自分の方が悪いと思い込んでしまう。生活費を渡さず、かけごとなど自分の遊びに使う。妻の行動をこと細かにチェックし、外出すると機嫌が悪くなるケース。性的暴力も九件あり、子どもの目の前でセックスを強要したり、SMセックスの強要などがある。

暴力の相談のうち常習性があると判断されるのは三十六件。二十年間休みなく暴力がつづき、暴力がひどくなる例もある。

暴力の理由と件数は①単純に妻の言うこと、することが気にくわない、二十一、②女性関係を問いつめられて、十五③単にイライラして、十一等々。

こんな状況だが、実父母に相談しても「子どもがいるから我慢しろ」「女は夫に従え」などと言われ、経済的に自立できない不安もあって結局そのまま。家裁でも調停委員に「あなたが悪い」と言われ、結局そのままになったという例が多い。「110番」に、「なんとか踏ん切りをつけたい」と思い電話をした人が多く（十七件）、弁護士を紹介して欲しいと頼んだ人もいた（十六件）。

「性暴力にNO！なごや女たちの会」は、暴力を受けている女性たちは数多く、実態は深刻であることがわかったと、「一刻も早く相談機関や相談システムを作ること」「国や自治体で夫から妻への暴力の実態を明らかにする調査、研究を行い、その結果を公表すべきである」と提言している。

海外通信　アメリカ サンタフェ＝①　浅葉和子

プエブロ・インディアンと共に

一枚の絵が出会い

四十九歳でニューメキシコへ

人生、どこでどう道が開けてくるかわからない。何か、目に見えない糸のようなものが天から下り、人や、ものと出会い、進むべき方向へと導いてくれる。

その当時、私は四十九歳だった。アートディレクターだった夫と離婚して十年目。これからの人生を、どう自分らしく生きようかと考えていた。「女の本当の人生は、五十歳からがスタート」とこれが私のモットーだった。

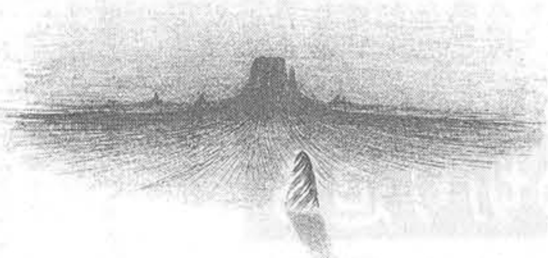
当時私は、二十三年間続けてきた子供のデザイン教室を通して、変わってきた子供たちのことがいろいろ気になっていた。あいさつを忘れた子供たち、目の輝きを失った子供たち、自分の考えを持たない子供たち、感謝や思いやりの心を失った子供たち。いじめや子供の自殺、登校拒否、家庭内暴力…など、ますますエスカレートしていく日本の子供たちの問題に頭を悩ませていた。物質文明と便利化社会の中で、精神的なものがどんどん薄らいでいく。何かしなくてはいけない。自分にできることはいったい何だろうか？

ちょうどその頃、友人の誘いでエジプトに行く機会を得た。そこで砂漠という厳しい自然の中で、貧しくとも明るく生きているエジプトの子供たちと出会った。そこには日本の子供たちが失いかけていた、明るい笑顔と瞳の輝きがあった。以来、日本の子供たちをエジプトに連れていって、エジプトの子供たちに会わせたい、子供たちにピラミッドを見せたり、日本と全く違った文化の中で、何か大きな刺激を与えたい、と考えて、一九八九年三月、三十人の子供たちをエジプトに連れていくことになった。

そんなある日、エジプト大使館からの帰り道、ふと、いつも通ったことのない道を通った私は、人通りの少ない細い道の一角にあった、ちょうどその日にオープンしたという、小さなギャラリーに入った。そして、そこに飾ってあった一枚の絵に引き込まれてしまったのだ。

夕闇の地平線の砂漠の中に、毛布をかぶってたたずんでいる、一人の女性の後姿。その祈りのような安らかさ、この静けさはいったいどこから来るのだろうか…。私は、まるで何かにつかれたように、その絵の前に二時間近くたたずみ、そんな砂漠で生活している子供たちのことを夢想した。

その絵は、ニューメキシコ州に住むナバホインディアンの描いたものだった。それ以来、私の頭の中には、ニューメキシコ、アメリカインディアン、という二つの言葉がいつも存在するようになった。



砂漠の夕闇に立つ女性像（ネィティブアメリカン導いた一枚の絵）

ちょうどその頃、二年前からハワイに留学していた十八歳の娘が「アメリカ本土に行って本格的に英語の勉強をしたい」と言い出した。そこで、二十年来の知人であるロサンゼルスのおじいちゃん、おばあちゃん、スピードとエバに手紙を出してみることにした。

八十歳のスピードは、今も現役でカーペットや壁紙を取り替える仕事をしている、とてもユーモラスな人柄。七十五歳のエバは楽しいことを見つけるのが大の得意。山の中腹にある家のまわりに、ロバやウサギ、アヒル、ニワトリ、犬や猫などをいっぱい飼って、動物たちの世話をしながら、小学校の派遣講師をしている。そんな二人からきた手紙に「ロサンゼルスは危険だから、もし母親も一緒だったらOK」と書いてあったのだ。

二十一歳の長男はアルバイターで何とか自活しているし、次男はちょうど四月に高校を卒業。そろそろ母親業を卒業して、人生の休養期間をとることもいいかもしれない。などと考えて息子たちに話すと、「行ってきていいよ」と言ってくれた。子供のデザイン教室も、二人のアシスタントたちに話すと、「二年くらいだったら何とかやっていきますから」と返事が返ってきた。

そんな事で一九九一年六月二十八日、私の四十九歳からのアメリカ生活がスタートすることになった。（絵も筆者）

浅葉和子　武蔵野美術大学デザイン科卒業。横浜市金沢区でこどものデザイン教室主宰。一九九一年から渡米、アートセラピー、ネイティブアメリカン文化の研究交流に携わる。

芝信

男女差別裁判の勝利を！

芝信用金庫の
男女差別裁判勝利をめざす2.17大集会
主催＝芝信の男女差別をなくす実行委員会

闘いの歴史を語る十三人の原告。支援者も壇上に上がり勝利への決意を

「まっすぐに、美しい未来を」をキャッチフレーズに闘ってきた、芝信用金庫の男女差別裁判の最終弁論が十六日行われ、七年に及ぶ裁判は結審したが判決はこれから。

十三人の原告、裁判を支えてきた弁護団の労をねぎらい、「勝利」の判決を勝ち取ろうと、十七日、東京千代田公会堂に一千人を越す各地の労働組合員、個人が集まり〝勝利をめざす大集会〟を開いた。

七年の闘いをテレビニュースや十三人の原告、弁護士らの言葉で振り返った後、イーデス・ハンソンさんが「職場における人権意識」のテーマで講演。「私たちの社会は女より男が、あれよりこれの方が上等とランク付けするが、この習慣をなくすことが大切」と、ランク付けから始まる差別について語った。

同集会を主催した実行委員の一人、米田佐代子さんは「差別の根っこには男女差別がある。芝信を応援することは、世の中の不合理と闘おうとしている人や私自身の闘いでもある」と。

弁護団の坂本修弁護士は「まともなら絶対勝つ裁判だが、まだ手をゆるめられない状況がある」と言い、さらに強い支援を訴えた。

ニュースくりっぷ

◆雇用均等法に基づく初の調停案を拒否

住友金属工業（本社・大阪）の女性社員七人が「男子社員との間で待遇や昇進に不当な差別を受けた」として、男女雇用機会均等法に基づいて申し立てた全国初の調停で、大阪婦人少年室は二十日、「一般職」から「総合職」へのコース転換ができる制度を導入するなどの調停案を双方に提示、三月二十日まで受諾するよう勧告した。

調停を申請したのは北川清子さんら勤続二十〜三十六年の女性七人。住友金属は管理職になる前の社員を給与条件などが異なる十の「職分」に分けて昇給させている。彼女らは男性より低い職種で採用された上に昇進のスピードが抑えられ、年収も同期の男性の半分程度だ。差別をなくし、職分を同期の男性社員並みに引き上げるよう要求していた。

しかし、調停案は彼女らの申し立てについて具体的判断を避けた内容となっていて、北川さんらは「到底受け入れられない屈辱的な内容。初めての調停ということで、全国の働く女性の期待もあったのに残念」だといい、訴訟も考えているという。

具体的な内容を避けたことは調停委員会の存在意義も問われる。

たんぽぽ

「性暴力にNO！なごや女たちの会」が昨秋二日にわたって行った「夫からの暴力110番」の結果（別項）は、この問題の深刻な実態を示している。髪をつかんでひきずり回したり、骨が折れるほど殴ったりの肉体的暴力はもちろん、言葉等による心理的暴力も多く、相談することもできず孤立して悩んでいることがわかる▼もう七年も前の話だが、オーストラリアに、女性と福祉の視察ツアーをしたことがある。オーストラリアの女性たちの最大の関心の一つが家庭内暴力（夫から）ということで、電話緊急相談の人びとや駆けこみの避難所等で話を聞いた▼「オーストラリアンハズバンド」という言葉がある。世界中で一番優しい夫はオーストラリアの夫という意味で、何でも、朝、まだベッドで寝ている妻にコーヒーを入れて持って行くのが平均的なオーストラリアの夫像だそうで他の国の男性の多少の揶揄かもしれない▼そのオーストラリアの夫が？と驚くと「にもかかわらず暴力はある」。そして「人種、職業、学歴に関係なく、夫の暴力はある」▼日本にはそんな問題はないと、のどかにいう人もいた。オーストラリア在住の日本女性が言った。「実態がわかっていないだけでしょ？オーストラリアでも数年前には話題にさえならなかった。女性が声をあげたら、あちらにもこちらにも起こっていることがわかったのです」「第一、この問題で日本には数字（調査）すらないではありませんか」▼数字すらない実態は今だに変わっていない。ほんの少しある調査は、すべて民間グループの行ったものだ。しかしその民間調査はどれも予想以上に深刻な実態を物語っている。大至急、行政で本格的な調査を行うべきだろう。北京でまだ「日本にはこの種の問題はない」とか「家庭内のことだから…」など言っていたら、それこそ常識を疑われる。

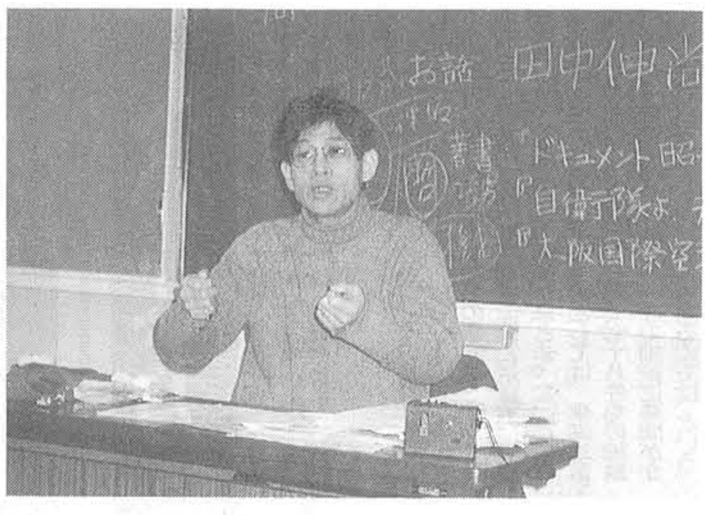
マルチメディアのNEC
電話で選べる3タイプだ！
コードレス留守電タイプ　speax　標準価格87,000円（税別）（取付調整費別）色 チタニウムグレイ
留守電タイプ　speax　標準価格59,800円（税別）（取付調整費別）色 チタニウムグレイ
標準電話タイプ　speax　標準価格49,800円（税別）（取付調整費別）色 チタニウムグレイ
新スピークスHighだ！
キロキロカッターだ！　1枚ずつキレイに、静かに自動でカット
ノンノンカールだ！　記録紙が、丸まらないから読みやすい
ハッキリ64階調だ！　64階調ハーフトーンで、写真もキレイ
ハイ機能ファクス
新スピークスHigh登場
お問い合わせは、パーソナルコミュニケーションインフォメーションセンター 0120-200940
NEC
むむっ、できるファクス。名を、名をなのれいっ！
一、機能もよし。一、電話もよし。一、価格もよし。
©赤胴鈴之助・武内つなよし／アース出版局
パーソナルFAXは、ファクス機能で選びましょう。

戦後50年、日本人の戦争観問う

犬死と思いたくない
「被害・加害」者観の樹立を

昨年以来、各地の地方議会で相次いで採択される「戦没者追悼決議」。一方でさまざまな〝物議〟をかもしながら「国立・戦没者追悼平和祈念館」（仮称）の建設準備も行われている。こうした動きの背景とは何か。八三年から十年かけて『ドキュメント昭和天皇』（全八巻・緑風出版）を著した田中伸尚（ノンフィクションライター）さんの話を聞いた。（2月12日立川市中央公民館。主催は教育フォーラム・〝ひと・びと〟）

ノンフィクションライター
田中伸尚さん講演


お話 田中伸尚
『ドキュメント昭
『自衛隊よ、
『大阪国際空

田中さんは朝日新聞記者を経て、七六年フリーに。天皇（制）を意識したきっかけの一つは「自衛隊合祀拒否訴訟」の原告、中谷康子さんとの出会い。それまで権力に無関心だった女性が、闘いを通して国家、天皇制と向き合うことになり、目覚めていく姿に感動。八〇年『自衛隊よ、夫を返せ』（現代書館）を書いた。

昭和天皇〝重態報道〟の八八年十二月には木下順二、内海愛子さんらと「アジアに対する日本の戦争責任を問う民衆法廷準備会」を結成。翌年から、日本がアジアで何をしたのか、事実を検証するための「小法廷」を開催してきた（敗戦五十年の今年「大法廷」を予定）。

「自衛隊合祀拒否訴訟」と、「箕面忠魂碑違憲訴訟」（'76年、神坂哲さんらが提訴）――二つの訴訟は、日本人の戦争観を問う意味で、大変重要だと言う。ともに「政教分離」を争う裁判となったが、行き着く先は「天皇制」だ。

「忠魂碑」裁判で、民衆の反応に代表されるのは「非国民（そんな裁判を起こすなんて日本人じゃない）」、「国のために戦った者をひぼうするなどとんでもない」というもの。戦争の本質がなんであったかを全く考えない反発だった。

「戦没者（軍人・軍属に限る。官制用語）とともに、国が強調する言い方に〝犠牲者〟がある。この犠牲者は、例えば〝英霊にこたえる会〟の結成宣言（'76年）でも〝犠牲者（英霊）のおかげで今日の平和と繁栄がある〟と使われている。肉親を死なせた悲しみが、戦争の本質を抜きにして単なる〝犠牲者〟としてとらえられてきた…」

「〝お国のために〟犠牲となったのだから、国はそれに相応のことをして然るべき」、そうした世論に支えられているのが、恩給、公務扶助料、特別弔慰金や叙勲といった戦没者遺族に対する現在の国の施策だ、と言う。

展示内容への批判などが噴出し、建設が延期になった「戦没者追悼平和祈念館」。そもそもは「国のために父をささげた遺児らへの慰謝事業を」という日本遺族会の要求に答える形で、十六年前に構想がスタートした。その後、「国民に浸透しにくい」と名称や内容が変更される。が、相次ぐクレームで厚生省はこのほど構想を〝白紙〟（当初の「遺児記念館」案）に戻したという経緯がある。

田中さんは、「こうした発想も犠牲者の子らに何かをという考えの〝継承〟だ」と指摘する。

昨年来、各地の地方議会で行われている「戦没者への追悼と感謝決議」は、いまや市・町村議会にも波及。そのかげに〝草の根保守〟の活発な動きがある。「これは元号法制定のときと全く同じ。地方決議で包囲し、中央へ上げる。狙いは国会での不戦と謝罪決議のストップだ」と。

戦没者の問題にふれるとき、難しいのが遺族への気使い。国会論議で一たび「ご遺族」の言葉が出ると、遺族への遠慮から遠まきな議論しかしてこれなかった。

そうした状況の中で、これまで問われずにいたことがある。「犠牲者」（戦死―犠牲―繁栄・平和―顕彰―戦死）と、宗教的意味合いを含む「英霊」（戦死―慰霊―教育―戦死）という二つのサイクルの存在だ。

「これらはついたり離れたりしながら、結局は五十年間見過ごされてきた問題。が、これを断ち切りない限り、いつまで同じ状況が続く。PKOなどで再び戦死者が出る可能性がある」と。

「肉親が〝犬死〟したと言いたくないのが遺族の心情だろう。が、侵略戦争の被害、加害両方の〝顔〟をもつ人と受け止め、国が迷惑をかけた被害者には償いをする。侵略された側の遺族にも同様にする。今後は〝犬死〟観ではない、別の〝戦争観〟を樹立していくことが重要なのではないか」と結論した。

北京・NGOフォーラム
締め切り迫る
コミュニケーター募集！

全国婦人新聞社企画、JTB丸の内本店海外旅行営業部主催の「北京・第四回世界女性会議 NGOフォーラム'95 参加者のためのパッケージプラン」の締切りがせまりました。

二月に入りましてからも問合せ等が相次いでいるため、締切りを三月十日までに伸ばしましたが、これから申込しまれる方はお急ぎ下さい。

パッケージプランは十四プラン、十九万八千円から。くわしいお問合せは、末尾、JTB丸の内本店海外旅行営業部へ。

JTB丸の内本店海外旅行営業部では、「第四回世界女性会議NGOフォーラム」会場で、日本語通訳サポートを引き受けて下さるボランティア、〝コミュニケーター〟を広く一般の方から募集しています。

〝コミュニケーター〟とは、NGO女性フォーラム'95北京会場で、日本からの参加者の言葉の壁を取り除く役割を担っていただくものです。いわゆる会議の通訳ではなく、準通訳または、コミュニケーションの仲立ちをしていただくという意味で、〝コミュニケーター〟と呼びます。

引き受けて下さる方の経費＝航空運賃、ホテル代（二人部屋二人使用）、業務に要した交通費実費、食事代＝は、JTBが負担致しますが、コミュニケート業務は無償のボランティアとさせていただきます。

【応募要領】

募集言語…英語、または中国語（北京語）。

派遣期間と場所…八月三十日から九月八日（期間は相談に応じます）。会場は中国・北京。

対象…①当該外国語のヒアリング・スピーキング力のある人。②会議の主旨に理解のある人。性別・年齢不問。

応募方法…①所定事項を記入した登録用紙（JTBにご請求下さい）と、パスポート用写真二枚。②『女性問題』について、日本語と当該外国語による自由作文（字数・書式の制限は無し。添付資料も可）。③履歴書の三点を、三月十六日（木）までに郵送のこと（必着）。その後、面接を行う予定です。

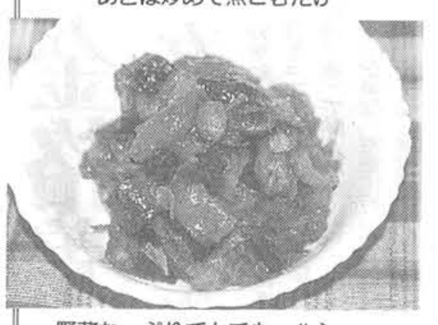
問い合わせ・郵送先…JTB丸の内本店 海外旅行営業部 世界女性会議・NGOフォーラムデスク 〒100東京都千代田区丸の内1―6―4☎03・3284・7562／FAX03・3284・7378

トマト風味を引き立てるオレガノ

エンジョイスパイス

材料はあらかじめ切っておきます

あとは炒めて煮こむだけ



野菜たっぷりでとてもヘルシー

日本は、シソの風味を大変好みます。オレガノはシソと同じ仲間のスパイスです。

オレガノは、地中海地方の山地に育ち、初夏に、紫紅色の可愛い花を咲かせます。スパイスにするのは、葉の部分ですが、いくぶん癖のある香りなので、料理には、フレッシュよりも乾燥したものを使ったほうが、青臭さがありません。

使い方のコツは、タイム、バジル、ローズマリーなどの、同じシソ科のスパイスを、少しずつブレンドして使うこと。こうすると、全体の芳香がまとまり、オレガノ臭が穏やかに感じられます。

今回は、シソ科の仲間のスパイスをブレンドして使うイタリアの野菜煮込み料理です。

▶162◀

オレガノ

《カポナータ》

【材料】（4人分）

玉ねぎ…1個、なす…3個、ズッキーニ…2本、セロリ…½本、赤ピーマン（大）…2個、オリーブ…5個、トマト（缶詰）…200g、トマトペースト…大さじ2、スパイス＝ニンニク…3片、オレガノホウル…小さじ1、タイムホウル…小さじ½、バジルホウル…小さじ⅓、ローズマリー…小さじ⅓、ベイリーブス…1枚、塩…小さじ⅓、オリーブ油…¼C

【下ごしらえ】

ⓐねぎは粗みじん切りにする。

ⓑなす、ズッキーニ、セロリ、赤ピーマンは2センチ角に切り、オリーブは半分に切る。

【作り方】

①鍋にオリーブ油を入れ、玉ねぎを加え、中火で玉ねぎ臭さがなくなるまで炒める。

②他の野菜を入れて炒め、トマト缶（汁ごと）、トマトペースト、スパイス類、塩を加え蓋をして弱火で15分ほど煮る。

③ベイリーブスを取り除き、器に盛る。

〈ワンポイントアドバイス〉

5種類ものハーブ系スパイスをブレンドすることで、スパイス臭さがなくなり、むしろさわやかな香りになります。この料理は、作り置きができます。

（資料提供・ライオン家庭科学研究所／料理指導・園田ヒロ子／イラスト・細田貞一）

ムーブ

サッカーくじ反対と予算組み替えを要求

日本母親大会連絡中央実行委員会は、『「サッカーくじ」法案の国会上程に反対する決議』、『阪神大震災救援・復興に向け政府予算の組み替えを要求する決議』を行った。

今国会に、スポーツ議員連盟が「サッカーくじ」法案を上程している動きに対し、同会は、基本的人権の一面をなすスポーツにギャンブルを結びつけることに、基本的に反対する。

予算の組み替えでは、政府は国民の生命・財産・人権を守ることを第一の義務として保障する決意を示し、来年度予算の根本的な組み替えを断行せよとし、「震災の復興を口実とする赤字国債の発行やあらゆる増税に反対」「米軍への思いやり予算や政党助成費を災害復興にまわすなど、来年度の予算組み替えを要求する」など十項目を村山富市総理大臣に要求している。

外国人の生存権確保を求める要請書送付

日本キリスト教婦人矯風会（山谷新子会長）は、二月十七日、井手正一厚生大臣に宛て、「来日外国人の人権、とくに生存権確保のための早急な措置」を求める要請書を送付した。

厚生省はようやく外国人にかかわる医療に関する懇談会を設置したが、九人のメンバーの中に女性が一人もいない。

来日外国人の中には女性も多く、妊娠・出産・育児についての援助を必要とするケースが多発している。同会は国籍を問わず緊急を要する女性・母子のためのかけこみセンター「女性の家HELP」を運営しているが、現場はさまざまな問題をかかえている。懇談会委員や政策決定をする厚生省は、こうした現場の意見を充分に聞くべきだ、とし、いま緊急に必要としているのは医療対策の確立だと指摘。

厚生省の口頭による指導で、行政の担当は苦りょし、医療機関は犠牲をはらい、民間援助団体は財政の負担を強いられている。外国人保険制度を普及して、自立の方策をたてることが必要。入院助産制度も法的裏付けがあるにもかかわらず、厚生省の指導で運用が阻まれている。全都道府県にある婦人保護事業の活用とともに、施設入所・入院財産の便をはかることは、日本国として当然の義務だとしている。

被災した母子家庭に対する電話相談開始

現代家族問題研究所（円より子代表）は、阪神大震災で被害を受けた母子家庭に対する義援金を募る活動を始め、三月には心の被害を受けた人のため「災害・心の110番」の電話相談活動も行う。

〈母子家庭震災援助金〉被災した母子家庭の生活資金や救援ボランティア活動の運営費等に当てる。

口座…第一勧業銀行町村会館出張所 普通預金口座 1583737 「母子家庭震災援助金」。

〈災害・心の110番〉

日時…三月十一日(土)、十二日(日)午後一時〜九時。

電話番号…0120・556275（フリーダイヤル）。

これ以降、毎週土曜日の「離婚110番」でも引き続き相談を受ける。第一、三土曜日は午後二時〜五時、第二、四土曜日は午後五時〜八時。☎03・3261・1835、03・3261・1836。

相談料は無料。相談員は同研究所のスタッフ三十名。顧問は、金住典子（弁護士）、竹川幸子（弁護士）、吉川武彦（国立精神・神経センター精神保健研究所部長）、福山和女（日本ルーテル神学大助教授、臨床心理士）、円より子（同研究所代表）さんら。

問い合わせ…同研究所☎／FAX03・5512・2738（向井）。

地球ネットワーク

出生前の性別検査を受ける女性に対する罰則反対
――インド

インド議会は、昨年八月、出生前に胎児の性別判別の検査をすることを禁止する法律を制定した。これまでも性の選別のための中絶は違法だったが、女の胎児はごく一般的に中絶が行われてきた。

この法により検査の実施者と受けた女性は共に禁固三年と三百二十ドルの罰金に処せられることになったが、女性グループは女性に対して課せられた罰則に怒り、法改正を求めて議会に働きかけている。彼女たちも長い間、性選別に対し闘ってきたが、社会と家族の圧力により、女児を中絶せざるを得ない立場に追いやられた女性を罰するのは、誤りとしている。

この法でカバーできるのは公的病院だけであり、女性が性選別を実施する民間機関を訴えなくなるだけだと。また、女性に対する罰則条項は、憲法及び国際法違反であるとしている。

マハラシュトラ州では、同主旨の法が八九年から実施されているが、ボンベイの〝女性健康フォーラム〟のチャヤニカ・シャー博士によると「検査料が高くなっただけ。闇検査はいまなお繁盛」という。

（Ms・NOVIDEC 94）

落合恵美子さんに決まる
戦後の家族体制を構造的にとらえる

山川菊栄記念婦人問題研究奨励金

第十四回（一九九四年度）山川菊栄記念婦人問題研究奨励金が落合恵美子さん（国際日本文化研究センター助教授）に決まり、一月二十二日（日）の午後、東京で贈呈式が行われた。

六十点を越す自薦他薦の中から、落合さんの「21世紀家族へ」（有斐閣）に決った。従来、ばくぜんと家制度から近代家族へ移ったと言われてきた日本の家族を、一九五〇年代から七〇年代にかけて成立した〝戦後体制〟を構造的に捉え、その内容を〈専業主婦化〉〈子供の数の画一化〉とするフレッシュな捉え方に加え、非常に分りやすい、話しかけるような文体が高く評価された。

最後まで選考に残り受賞を争ったのは、しんぐるまざあずふぉーらむ編著「母子家庭にカンパイ！」（現代書館）で、母子家庭の実態や児童扶養手当の問題点を前向きに実証的に書いた本。性格が全く違う二冊を比べるのも難かしい話だが、山川菊栄奨励基金の趣旨が〝研究成果〟ということで、落合さんの著作に決定したという。

贈呈式後の落合恵美子さんの記念スピーチは「個人を単位とした社会へ」。受賞作のタイトルが「21世紀家族へ」でありながら、家族の戦後体制の構造解明が主で、将来像が少なかったからといい、二十一世紀の家族像を語った。落合さんの予想では、将来社会は個人を単位としたものになって行くだろうという。

「家族が社会の単位であった時代は長いと思われているが、徳川時代の日本で、より重要な単位は〝家〟でなく〝村〟であった。これが戦前まで続いた。戦後、法的にも〝家族〟が確立し、世代の永続性のない家族（〝家〟でない核家族）が成立した」と。いま、欧米では〝家族〟の激変が起っている。「婚姻率、出生率が低下、離婚率が上昇した。いろいろな生き方に対し人々の考えは寛容になり、配偶者を持つことも子どもを持つことも人生の選択の一つと考えるようになってきた。一方夫婦はいつでも別れられる緊張感のある関係になってきた」と。日本では離婚率が少ししか上っていないのに、極端な出生率の低下が見られるが、これは〝南欧型〟なのだそうだ。

「個人単位社会というと日本では孤独な社会とみられ評判が悪いが、必ずしも一人暮らしが増えるというわけではない。八〇年代の日本では、女性の主婦離れが進んだが、いま男性が変わり始めているのではないだろうか。家族の犠牲になり〝給料運び人〟になるのはイヤだという男が出てきている」

こんな時代、女性たちもシビアーな考えをもつことが大切。

「民法改正法案の五年別居離婚の考えに主婦団体は反対しているが、単に〝女性の立場に立つ〟というだけではダメ。専業主婦と選択をした人は、配偶者と契約を交わすぐらいのことをしないと、やっていけない時代になるだろう」。

また「家族は〝双形化〟していくだろう。相手の親とあまり交わらない形だ。日本特有のべったりした親子関係を切っておかないと、変容についていけない旧世代が取り残される」と結んだ。

お知らせ

2月

◆トークサロン「男が変わる――これからの男の生き方を考える」
28日(火)「現代家族模様」高橋重宏（駒沢大教授）▽3月14日(火)「男らしさとは何か」東清和（早稲田大教授） 19時 大田区民プラザ（東急・下丸子駅前） 無料 問合せ…大田区男女平等推進室☎03・3773・5050

3月

◆空襲展
1日(水)〜5日(日)9時〜18時 東京都江戸東京博物館（JR両国駅西口5分） 展示「市民の描いた炎の街」、東京大空襲体験者による「語り部コーナー」、国家責任・補償要求、ビデオ上映 ※5日10時、13時30分 映画「ライヤンツーリーのうた」上映 主催…再び許すな東京大空襲！反戦平和の集い実行委員会

◆北京世界女性会議連続セミナー「日本女性としてどう関わるか」
3日(金)18時30分 アジア女性資料センター集会室（渋谷駅南口5分）「アジア太平洋地域NGO女性の北京への準備状況――バンコクNGOワーキンググループ会議から」報告・松井やより 討論・世界行動綱領（北京会議で採択される）最新草案について 1000円 問合せ…同センター☎03・3780・5245

◆私たちの望む図書館～〝市民の権利の機関〟として
4日(土)10時 フォーラムよこはま（JR桜木町駅・ランドマークタワー13F） 講演・塩見昇（大阪教育大教授） 500円 主催…横浜の図書館を考える集い 申込み…☎045・894・0054（依田）

◆第3回葛飾区女性フォーラム「一歩踏み出すために」
4日(土)10時〜17時15分 葛飾区女性センター（京成・お花茶屋駅8分） 海外派遣参加者報告、パネルディスカッション「男女共生社会をめざして」 長谷幸江（立教大講師）、しまようこ（大東文化大教員）、山口正紀（読売新聞社記者）、上條茉莉子（ライフデザインコンサルタント代表） 分科会（①夫婦別姓②新ライフスタイル③労働） 無料 問合せ…同センター☎03・5698・2211

◆しなやかに・したたかに ♀（おんな）の50年 これまでとこれから
4日(土)14時 滋賀県労働会館におの浜荘（JR膳所駅10分） シンポジウムとグループディスカッション「戦争と慰安婦」金子敬子（年金の国籍条項を完全撤廃させる滋賀県連絡会代表）、「女性と暴力」高橋啓子（臨床心理士）、「男が考えるフェミニズム」中村彰（メンズ・リブ会員） 500円 主催…3・8国際女性デー実行委 連絡…☎0775・22・4644

◆働きたい女性のための再就職セミナー
6日(月)13時 福生市福祉会館（JR青梅・牛浜駅5分） 講演・田中喜美子（「わいふ」編集長） 情報提供「ロード110番～こんな相談がきています」（立川労政事務所）、再就職のための自己診断ガイド（東京雇用促進センター） 無料 50名 申込み…東京都立川労政事務所☎0425・22・3171

◆阪神大震災でわかったマルチメディアの仕事術
7日(火)14時 お茶の水スクエアC館3Fホール（JR御茶ノ水駅5分） 山根一眞（ノンフィクション作家） 無料 問合せ…お茶の水図書館☎03・3294・2266

◆講座・男が変わる――これからの男の生き方を考える「もうひとつの顔を持った男たち」
7日(火)19時 大田区民プラザ 佐藤正枝（東京ボランティアセンター職員） 40名 無料 問合せ…大田区男女平等推進室☎03・3773・5050

◆'94男女平等を考える都民会議「女と男の生活空間――江戸・東京 粋な関係ウォッチング」
8日(水)13時 東京都江戸東京博物館・ホール 落語・三遊亭鳳楽、トークショー・北原亜以子（作家）、関川夏央（同）、福島瑞穂（弁護士） 400名 申込み…28日(火)まで女性計画課☎03・5388・3189

◆学習会「もし、東京に大震災が起きたら…? 都の防災計画を点検する」
8日(水)18時30分 中野社会福祉会館（中野駅北口3分） 講師・望月利男（都立大都市研究センター） 1000円 主催…都政学習会 連絡…☎03・3389・0531

◆とうきょう学生ボランティアふぉーらむ'95
10日(金)10時〜18時 飯田橋セントラルプラザ7F（JR飯田橋駅前） 基調講演・安藤雄太（東京ボランティアセンター主幹）、11時10分分科会Ⅰ（有償ボランティアなど9テーマ）、13時30分同Ⅱ（福祉、環境、国際協力の分野別に情報交換） 全体会、交流会 1000円 申込み…はがきに住所、氏名、学校名、学年、「申込用紙希望」と書き、〒162新宿区神楽河岸1―1 とうきょう学生ボランティアふぉーらむ実行委員会 問合せ…☎03・3235・1171（青年ボランティア事業担当・河村）

◆結婚の意味を問う継続討論会
10日(金)18時 豊島勤労福祉会館（JR池袋駅西口） テーマ・あなたのこども、誰の為、何の為 無料 問合せ…討論会事務局☎03・3354・2543（藤村）

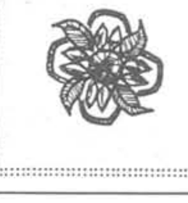
◆金曜連続講座「日本の林業はいま…東京の林業の現場から」
10日(金)18時30分 文京区民センター（地・春日駅すぐ） 田中惣次（林業経営者） 500円 問合せ…同運営委☎03・3221・4668

◆波瀬満子パフォーマンス'95――スーパーA・I・UEO PART2
10日(金)19時、11日(土)、12日(日)14時、19時 こどもの城青山円形劇場 1部あいうえおがやってくる、2部ロボット登場のバラエティ 3800円（前売3500円） 予約…ウリポはせカンパニー☎03・3332・1255

◆働く者の労働法講座
11日(土)10時〜17時 中央大学駿河台記念館285号室（JR御茶ノ水駅3分） 労働条件の一方的切下げとどう闘うか（弁護士・大塚達生、田中誠）、働く女性の戦いの最前線から（同・宮地光子）ほか 資料代5000円 先着144名 要予約 主催・申込み…日本労働弁護団☎03・3251・5363／FAX03・3258・6790

◆女性キャスターとニュース――私たちはどう伝えようとしているのか
11日(土)13時30分 青山スパイラルホール（地・表参道駅5分） 小宮山洋子、櫻井よしこ、田丸美寿々、安藤優子、小宮悦子、野中ともよ、司会・平野次郎（NHK）、コーディネーター・小玉美意子（江戸川大教授） 3000円（学生2000円） 主催…日本女性放送者懇談会☎03・3352・9275

◆ヨネヤマママコのシャンソンマイムとサリ・ロスのストーリーテリング
11日(土) 横浜女性フォーラムホール（戸塚駅7分） A13時30分「親子で楽しむストーリーテリング」サリ・ロス、B15時「ママコのパンカゴ」ヨネヤマママコ 通し券2000円（18歳以下1000円）、Aのみ1500円（同500円）、Bのみ1000円（同500円） 申込み…横浜女性フォーラム☎045・862・5052（事業グループ・中西）



◆国際婦人デー3・11東京集会
11日(土)14時 渋谷区立新橋区民会館（恵比寿駅10分）「教えられなかった戦争―フィリピン編（仮）」ハイライトビデオ上映、基調報告、発言、アピールなど 700円 主催…同実行委 連絡…小川町労働者クラブ☎03・3294・0472

◆講演とビデオ「コスタリカを旅して」
11日(土)14時 新宿区女性情報センター（地・曙橋駅2分） 今井通子 無料 主催…地球環境・女性連絡会（GENKI）☎03・3265・6534（日本YWCA会館内）

◆「いのち」への暴力――大気汚染を知る
11日(土)14時 エポック10（池袋駅メトロポリタン口） 綿貫禮子（環境問題研究家） 500円 主催…日本婦人問題懇話会豊島支部

◆日中友好神奈川県婦人連絡会20周年記念のつどいとシンポジウム
▽つどい 11日(土)14時 横浜YWCA3Fホール（関内駅5分） コーラス、中国琴演奏ほか▽シンポ「家族について―変わりゆく日本の家族・中国の家族」 15日(水)14時 かながわ女性センター 谷口優子（弁護士）、喬雪蛍（中華全国婦女連合会）ほか 申込み…同連絡会☎045・261・0522（火・午後）、シンポはかながわ女性会議☎0466・27・2111（代も可）

◆ドーン・シネマクラブ第3回「血祭りの朝」
11日(土)14時、16時、18時 ドーンセンター（地・天満橋駅） 監督…李少紅 中国映画（'90） 1000円 主催…(財)大阪府男女協働社会づくり財団 問合せ…同センター☎06・910・8615

◆6カ国の比較からみた日本の家族・家庭教育
15日(水)13時30分 日本女子会館2Fエトワール（地・芝公園駅2分） 清水弘司（埼玉大助教授）、杉山明子（東京女子大教授）、原ひろ子（お茶の水女子大教授）、渡邊秀樹（慶應義塾大助教授）、コーディネーター・牧野カツコ（お茶の水女子大助教授） 無料 先着200名 申込み・問合せ…(財)日本女子社会教育会☎03・3434・7575